

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

1. 川上地区

- (1) 近年、新築マンションの建築が進み他都市からの転居世帯(若い世代)が増えています。地域の結束力は強く一人暮らし高齢者等のたすけあい活動も行われています。
- (2) 地形的に坂道が多いため、バス路線から離れた地域の高齢者には移動のための交通手段が課題となっています。また、公共施設が少なく、地域活動は小学校、コミュニティハウスや自治会町内会館を利用しています。
- (3) 地区社会福祉協議会(以下、地区社協)が、地域情報の収集・発信及び活動団体の取りまとめを行うなど、中間支援組織として活動しています。

2. 東戸塚地区

- (1) 高齢化が進んでおり、特に県営川上第一団地の高齢化率は45%を超え、その内半数以上は75歳以上の一人暮らし世帯となっています。
- (2) 自治会町内会は組織されているものの、連合未加入のマンションもあり地区社協などの地域活動の推進が難しい地域です。しかし、自治会町内会は、住民同士のつながりを深めようと「ごみ拾い」や「夏祭り」、地区連合として「体育大会」や「凧揚げ大会」など様々な行事を開催しています。

3. 東戸塚地区～駅周辺エリア

- (1) 1980年に東戸塚駅が開業し1990年代後半からマンションの建設含め駅前再開発が始まった新しいまちであり、自治会町内会組織率や加入率が低く、地域のコミュニティづくりが課題となっています。
- (2) 高齢者住宅(マンション)の建設もあり、他都市からの転居者(一人暮らし高齢者)が増えています。
- (3) 一部の自治会では、助け合い活動などが行われているマンションもあります。
- (4) 企業・店舗が多く、地域とのネットワークを築くため「絆の会」や「東戸塚商店会」を組織しており、地域貢献に参加する意識・土壌があります。

4. 今後の方向性

川上地区は、“ちょボラ”グループが町内別にそれぞれ2グループあり、また地区社協主催による地域の活動団体が集う「活動委員会」の開催など組織化された取組はあるものの、地域活動者(担い手)の高齢化等で人手不足が課題となっています。若い世代(家族)の転入者が多いので、新たな人材が地域づくりに関われるような仕掛けを地区連合や地区社協とともに取組を進めていきたいと思います。

東戸塚地区は、駅周辺とその他のエリアでは地域特性が違うため、それぞれに応じた支援に取り組めます。駅周辺は連合未加入のマンションが多く、地域の情報が行き渡らないなど住民同士のつながりが希薄であるのが現状です。連合未加入マンションについては、管理組合等と新たな連携の仕組みをつくるなどして地域づくりを進めます。また、高齢化率の高い県営団地エリアは地域活動者の高齢化や人手不足を補うべく、企業・店舗や病院、高齢施設等の社会資源を活かした支援体制をさらに継続・発展させていきたいと考えます。企業・店舗、病院、専門学校や大学などのあるこの地域ならではの特性を活かし、より強い信頼関係の中で連携がとれるよう日頃からの地域課題・情報の共有を図ります。

なお、いずれの地域においても新型コロナウイルスの影響により地域活動が中止または縮小傾向にあり、ワクチン接種の完了後の活動再会に向けた取組が求められています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【相談・支援(地域ケアプラザのPR)】 「断らない相談支援」を目指しニーズの的確な把握や複合的なニーズへの対応など、幅広い相談に対応できるように、日頃から区所内の各専門職が連携して取組を進めるとともに、区役所や区社協など、関係機関との連絡を密にし、相談者への情報提供や対応を速やかに行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【職員体制・育成】 人材育成計画、人事考課制度等を利用し、職員個々のスキルアップに努めるとともに、5職種会議や全職種が参加する職員会議の毎月開催により、各自役割の進捗状況と地域情報を共有します。 また、地域ケア会議では内容によって担当者(リーダー)を変えるなど、職種を横断した課題解決に向けた体制づくりとともに個々のスキルアップを図ります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【認知症支援事業】 イベント開催(「あったかハートin東戸塚」や認知症サポーター養成講座等)や協議体等のテーマとし、地域住民や企業、サービス事業者や医療関係者等との連携を深め、支援体制づくりを進めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【権利擁護業務】 高齢者の権利を守るための「身近な相談窓口」として迅速かつ適切な対応を行うとともに、専門機関との協働して取り組めます。また、近隣の地域ケアプラザとの協働事業『ものしり大学』の開催を通じて、権利擁護制度の普及啓発を行います。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

新型コロナウイルスの影響により停滞した地域の福祉保健活動の再開に向けて支援を行うとともに、地域の身近な相談窓口としての役割を果たせるよう取組を進めた。

○地域福祉保健活動の支援について

- ・ボランティア連絡会と連携した交流会等を開催し、地域活動の再開に向けて担い手間での新たな地域ニーズや課題間の共有を行った。
- ・移動や買い物に課題を抱える地域について、課題解決に向けた話し合いの場に参加し協力を行った。買い物支援については、企業と実施に向けた調整が進み2つのエリアで移動販売の実施となった。
- ・認知症サポーター養成について、区認知症キャラバンメイト連絡会と連携して開催し、地域福祉活動団体の他、企業の職員も対象として開催しサポーターの拡大を行った。
- ・ケアマネジャーと民生委員児童委員の意見交換会を開催し、地域における要支援者の見守り体制づくりを行った。

○総合相談窓口として機能向上について

- ・窓口のPRについて、従来に引き続き、広報紙を法人HPや自治会町内会等、地域の福祉保健団体への配布し周知を行った他、近隣の企業、商店等への配架依頼や、他の地域福祉関係団体のHPにも掲載依頼を行い情報発信を拡大した。
- ・法人の人材育成計画に基づく研修や、法人内外の会議等への出席、所内の部門を超えた定例会議の開催を通じて、職員ひとり一人の資質向上に努めた。
- ・日頃から、区所管課、近隣の介護保険事業所、基幹相談支援センター、子育て支援拠点等の専門基幹や、民生委員児童委員などの地域福祉保健団体などと連携を図り、「断らない相談窓口」となるよう取組を行った。
- ・権利擁護や介護予防の推進のため専門家を招いた研修会の開催や日頃からの連携による相談支援を行った。

□ 区からのコメント

今年度も長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止や感染症対策を講じながらの貸館・相談業務など柔軟な対応が求められる中、地域に寄り添った施設運営をしていただきました。

社会資源を生かした地域支援の取組では、買い物や移動に関する課題を解決するため、事業者と地域住民との調整役として丁寧な支援を行い、圏域内の2か所で移動販売を実現することができました。高齢者などの見守りに関する取組では、コロナ禍で関りが減っているケアマネジャーと民生委員・児童委員が情報共有や意見交換をする場を設定し、見守り体制の充実に取り組んでいただきました。

少子高齢化をはじめとした社会状況の変化を背景に地域ニーズ・生活スタイルが複雑・多様化する中で、今年度からスタートした第4期とつかハートプランは、区民や事業者、区役所、区社協、地域ケアプラザなどの協働により、「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を目指しています。引き続き、地域ケアプラザの強みとなる専門性を発揮する縦方向の支援と職種を越えて連携する横方向の支援に、区役所や区社会福祉協議会などの関係機関との連携を織り交ぜながら、地域に根差した施設運営を行ってください。

令和3年度横浜市東戸塚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>1 利用者への公正中立な情報提供 居宅介護支援事業所の紹介の際は、複数の事業者の情報を伝え、相談者に不利益が生じないよう情報提供します。</p> <p>2 介護保険事業者との公正・中立な連携 ホームページなどを活用して、特定の事業所に情報が偏らないようにします。</p> <p>3 会場貸出公正中立の確保 利用の手引きに即した貸館運用を行います。また、手引きについて周知利用方法について情報発進を行います。</p>	<p>関連する法律・諸規定を遵守し、社会福祉を担う職員として、公私ともに常に良識を持った行動をとることを心がけます。その取組として、法人で定めたコンプライアンスハンドブックを全職員が携帯し、公正・中立な立場で業務にあたります。また、法令順守のみにとどまらず、積極的に市民の願いや期待に応え、行動することを目指します。地域福祉の推進役として職員一人ひとりが改革意識をもって考え、行動し、住民や関係機関との協働のもと、地域の福祉課題の解決に取り組みます。</p>
実績	<p>相談者へ居宅介護支援事業所の情報を提供する際は、ホームページなどを活用し、複数の事業者情報を伝え、特定の事業所に情報が偏らないよう、公正・中立に情報を行いました。</p>	<p>全職員を対象にコンプライアンス研修を開催し、意識啓発を行うとともに知識・認識を深めました。また、日頃の定例会議にて、ヒヤリハットや他のケアプラザなどの事故事例を共有し、事故の防止と意識向上に努めました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>区役所、サービス提供事業所、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターとの情報共有及び協力体制をつくり、取り組みます。</p>	<p>利用者の意思を尊重し、心身の状況に応じて可能な限り住み慣れた地域で自立した生活がおくれることを目標として居宅サービス計画を作成します。また、区や地域包括支援センター、特定介護予防支援事業者との連携を通じて、公正中立な立場で切れ目のない支援を行います。</p>
利用料金・実費負担	自己負担なし	<p>原則自己負担なし。 担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費を徴収。</p>
職員体制	<p>管理者 1名(常勤兼務)、保健師 1名(常勤兼務)、主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務)、社会福祉士 2名(常勤兼務1名、非常勤専従1名)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務)、介護支援専門員 6名(常勤兼務1名、常勤専従1名、非常勤専従4名)</p>
契約者数	84	181

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・利用者の「自立支援」「個別性」を尊重したサービスを提供するとともに、あわせて質の向上を図り、利用者・家族・関係機関から信頼される事業を展開します。		
実施体制	【実施日数】 359日(12/29日～1/3までは休業) 【提供時間】 午前10時15分～午後3時20分 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	食費800円		
職員体制	管理者1名(常勤兼務)、生活相談員6名(常勤兼務2名、非常勤兼務4名)、看護職員4名(非常勤兼務4名)、介護職員14名(常勤兼務2名、非常勤兼務12名)、機能訓練指導員4名(非常勤兼務4名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8707 【契約者数】 120	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,115,461		18,115,461	17,859,285	256,176	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	52,400	△ 52,400	参加費収入
雑入	0	0	0	53,120	△ 53,120	
印刷代			0	720	△ 720	コピー代
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	52,400	△ 52,400	
その他	3,510,500		3,510,500		3,510,500	
収入合計	21,625,961	0	21,625,961	17,964,805	3,661,156	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,506,500	0	12,506,500	10,057,289	2,449,211	
本俸	8,920,500		8,920,500	7,498,241	1,422,259	
社会保険料	705,000		705,000	677,639	27,361	
手当計	2,783,000		2,783,000	1,737,628	1,045,372	
健康診断費	11,000		11,000	6,833	4,167	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	80,000		80,000	129,579	△ 49,579	
その他			0	619	△ 619	
事務費	1,746,000	0	1,746,000	1,593,702	152,298	
旅費	20,000		20,000	4,264	15,736	
消耗品費	400,000		400,000	399,384	616	
会議賄い費	1,000		1,000	0	1,000	
印刷製本費	160,000		160,000	75,000	85,000	
通信費	320,000		320,000	345,474	△ 25,474	
使用料及び賃借料	0	0	0	452,365	△ 452,365	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	452,365	△ 452,365	
備品購入費	70,000		70,000	140,151	△ 70,151	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	8,852	1,148	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	45,000		45,000	0	45,000	
手数料	10,000		10,000	3,630	6,370	
地域協力費	3,000		3,000	0	3,000	
その他	700,000		700,000	164,582	535,418	
事業費	2,303,000	0	2,303,000	221,962	2,081,038	
運営協議会経費	10,000		10,000	0	10,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	221,962	△ 121,962	
その他	2,193,000		2,193,000	0	2,193,000	
管理費	3,696,461	0	3,696,461	4,619,226	△ 922,765	
光熱水費	2,000,000		2,000,000	2,685,342	△ 685,342	
清掃費	1,000,000		1,000,000	1,040,466	△ 40,466	
機械警備費	5,500		5,500	5,301	199	
設備保全費	690,961	0	690,961	888,117	△ 197,156	
空調衛生設備保守	350,000		350,000	149,486	200,514	
消防設備保守	0		0	28,029	△ 28,029	
電気設備保守	0		0	91,363	△ 91,363	
害虫駆除清掃保守	0		0	25,445	△ 25,445	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	340,961		340,961	593,794	△ 252,833	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	217,824	256,176	予算：指定額
公租公課	900,000	0	900,000	1,151,018	△ 251,018	
事業所税			0		0	
消費税	900,000		900,000	1,151,018	△ 251,018	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,625,961	0	21,625,961	17,861,021	3,764,940	
差引	0	0	0	103,784	△ 103,784	

自主事業費 収入	0	0	0	52,400	△ 52,400	
自主事業費 支出	100,000	0	100,000	221,962	△ 121,962	
自主事業 収支	△ 100,000	0	△ 100,000	△ 169,562	2,571,173	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	4,167	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	34,942,464		34,942,464	25,316,082	9,626,382	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	19,000	△ 19,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	19,000	△ 19,000	
その他（提案時控除 法人負担分）	8,716,000		8,716,000		8,716,000	
収入合計	49,614,464	0	49,614,464	31,291,082	18,323,382	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,134,000	0	45,134,000	34,330,526	10,803,474	
本俸	30,583,000		30,583,000	16,108,350	14,474,650	
社会保険料	3,880,000		3,880,000	4,310,112	△ 430,112	
手当計	9,500,000		9,500,000	11,974,356	△ 2,474,356	
健康診断費	35,000		35,000	53,235	△ 18,235	
勤労者福祉共済掛金	26,000		26,000	30,250	△ 4,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,110,000		1,110,000	1,851,267	△ 741,267	
その他			0	2,956	△ 2,956	
事務費	602,000	0	602,000	1,002,257	△ 400,257	
旅費	25,000		25,000	28,419	△ 3,419	
消耗品費	133,000		133,000	155,102	△ 22,102	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	5,000		5,000	33,456	△ 28,456	
通信費	320,000		320,000	360,640	△ 40,640	
使用料及び賃借料	0	0	0	254,467	△ 254,467	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	254,467	△ 254,467	
備品購入費	20,000		20,000	44,550	△ 24,550	
図書購入費	10,000		10,000	4,356	5,644	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	2,353	2,647	
職員等研修費	45,000		45,000	12,994	32,006	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	12,000		12,000	0	12,000	
手数料	17,000		17,000	0	17,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	105,920	△ 105,920	
事業費	2,933,000	0	2,933,000	703,359	2,229,641	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,929,000		1,929,000	22,259	1,906,741	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	23,100	196,900	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	819,464	0	819,464	1,227,891	△ 408,427	
光熱水費	291,964		291,964	713,825	△ 421,861	
清掃費	264,000		264,000	276,579	△ 12,579	
機械警備費	5,500		5,500	1,409	4,091	
設備保全費	258,000	0	258,000	236,078	21,922	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	39,756	10,244	
消防設備保守	0		0	7,450	△ 7,450	
電気設備保守	0		0	24,284	△ 24,284	
害虫駆除清掃保守	0		0	6,763	△ 6,763	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	150,000		150,000	157,825	△ 7,825	
共益費			0		0	
その他	58,000		58,000	0	58,000	
修繕費	126,000		126,000	57,898	68,102	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	49,614,464	0	49,614,464	37,321,931	12,292,533	
差引	0	0	0	△ 6,030,849	6,030,849	

自主事業費 収入		0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,303,000	0	2,303,000	199,359	2,103,641	
自主事業 収支	△ 2,303,000	0	△ 2,303,000	△ 199,359	△ 2,103,641	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:東戸塚地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	17,192	17,180	12	28,079	29,890	-1,811	69,442	75,938	-6,496			0
	その他			0	0	0	0	1,728	2,445	-717	7,839	7,791	48	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0	7,739	7,695	44			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	1,728	2,445	-717	100	96	4			0
収入合計(A)				0	17,192	17,180	12	29,807	32,335	-2,528	77,281	83,729	-6,448	0	0	0
支出	人件費			0	9,075	4,749	4,326	24,809	25,431	-622	50,596	54,209	-3,613			0
	事務費			0	23	28	-5	61	67	-6	191	244	-481			0
	事業費			0	5,729	10,162	-4,433	1,096	3,309	-2,213	25,019	25,500	-471			0
	管理費			0	0		0	0		0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	-53	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)				0	14,827	14,939	-112	25,966	28,807	-2,841	75,806	79,953	-4,565	0	0	0
収支 (A) - (B)				0	2,365	2,241	124	5,569	5,974	313	1,475	3,776	-1,883	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	りとるありんこクラブ	H13年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3：養育者及び乳幼児	4, 5	1歳から3歳までの子どもと養育者の育児サークル	20	513
2	しゅっぱぽぽ	H14年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3：養育者及び乳幼児	4, 5	品濃町・上品濃・川上町にお住まいの8ヶ月から2歳児までの子どもと養育者の育児サロン	11	303
3	お茶のみ会	H6年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	介護予防 外出機会の創出 仲間づくり	1：高齢者	5	茶話会、季節行事等による高齢者の交流会	22	443
4	男の井戸端会議	H18年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	介護予防 地域参加へのきっかけづくり 仲間づくり	1：高齢者	5	60歳以上の男性を対象とした交流会	7	101
5	おじさんボランティア 助っ人隊(定例会)	H15年度	7共催(1と2と3)	1：優先的に取り組み	ボランティアグループ支援 高齢・障がい世帯支援	5：地域	1	ボランティア需給調整 地域ボランティア定例会への参加、アドバイス	12	114
6	夜間飛行	H1年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	障害者の余暇活動支援	2：障害児・者	5	18歳以上の主に知的障がい者を対象とした青年学級 季節の行事等を通じてボランティアや仲間同士の交流を図る	22	317
7	あつたまり場	H20年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	精神障害者活動支援 居場所の提供	2：障害児・者	5	ボランティアと協働して行うこころの病をかかえた方のためのフリースペース	12	82
8	東戸塚VERYの会	H27年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	子育てに関する情報交換 ダブルケアへの取組み	7：その他	4, 5	東戸塚地域ケアプラザエリア在住のおおむね35歳以上の高齢初産者、高齢出産者を対象とした会	11	148
9	ものしり大学	H17年度	2包括	1：優先的に取り組み	権利擁護啓発 専門職との連携 近隣のケアプラザとの連携 住民参加	5：地域	1	地域の人に対して本人の意思決定を支援し、用意しておくことの大切さを普及啓発していく	7	119
10	はれやか通信 さんぼみち編集会議	H16年度	7共催(1と2と3)	1：優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の情報を地域住民に向けて発信	5：地域	1, 2, 3, 4	地域ボランティアも含む編集委員会を開催し、各月で発行している広報紙「はれやか通信さんぼみち」の作成および発行会議以外にメールを利用し、原稿作成編集を行った	4	23
11	東戸塚ボランティア連絡会	H25年度	5：共催(1と3)	1：優先的に取り組み	ボランティアに関する情報交換 連携強化 課題検討及び解決	5：地域	1, 2, 3, 4	ボランティア、地域活動者による連絡会	7	62
12	めいめい庵(介護者の集い)	H16年度	2包括	1：優先的に取り組み	介護者支援 虐待予防	5：地域	1	介護者のための懇談会	5	48
13	うたごえ喫茶かがやき	H19年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	介護予防 外出機会の創出	1：高齢者	5	地域ボランティアによる歌声喫茶開催 うたごえ喫茶実行委員会と共催。5回の会議を開催した	6	50
14	アミーコ	H24年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3：養育者及び乳幼児	4, 5	関係団体や地域との交流を図る機会として事業開催 ・絵本の読み聞かせ講座 ・おもちゃの広場 ・芋ほり体験 ・パパ向け育児講座 ・パパ交流会	11	198
15	外出付添ボランティア講座	R2年度	5：共催(1と3)	1：優先的に取り組み	障がいのある方の外出時の付添ボランティア養成講座 障がいについての理解啓発	1：高齢者	5	中途障がいの方の講演 車いす体験 付添ボランティア制度について	1	19

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	貸館利用団体交流会	H21年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	・会場利用に関するルール認 ・コロナ禍における利用方法周知 ・団体相互の交流	5：地域		コロナ禍での利用について説明 利用時のルール説明と確認 参加団体の活動紹介を行った	2	64
17	障害理解講座	H31年度	1地域交流	1：優先的に取り組み	障害者総合支援法について学ぶとともに、身近な地域にある支援機関について知り、理解を深めることで、地域における助け合いの輪が広がるきっかけを作る。	5：地域	3	戸塚区自立支援協議会コミュニティ部会、後見の支援センター戸塚エコーを講師に迎え、理解講座を行った	1	16
18	ボランティア入門講座	R元年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	ボランティア養成 仲間づくり 生きがいづくり	5：地域	1, 4	ボランティア養成講座 関係機関、施設、事業所の協力を得て多様な場面で連携を図る	5	67
19	GOGO健康講座/からだメンテナンス講座	H28年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防 地域参加へのきっかけづくり 仲間づくり	1：高齢者	5	介護予防普及啓発事業GoGo健康！講座 運動、栄養、口腔ケアに付いて各講師を招き、高齢者が自ら介護予防に取り組むことへのきっかけを作る。	10	227
20	遺言講座	R3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	本人の意思決定支援 権利擁護の普及啓発	1：高齢者	5	地域の人に対して相続遺言講座と実際に遺言書を書いてみよう実践を実施本人意思決定を支援していく。	2	59
21	権利擁護啓発事業	R3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	権利擁護についての普及啓発	5：地域	1	遺言書を書いてみよう 弁護士相談会	2	59
22	もりのしり大学	H21年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	権利擁護啓発 専門職との連携 近隣のケアプラザとの連携 住民参加	5：地域	1	地域の人に対して本人の意思決定を支援し、用意しておくことの大切さを普及啓発していく	6	112
23	ケアマネサロン KITTYメソッド事例検討会	R元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアマネジャー支援 スキルアップ	6：事業者		簡単に取り組みできる事例検討手法を学び、各事業所でも行うことができるように手法を学び、事例検討を行うことで様々な視点を学び導くことができるようになる。	2	22
24	民生委員とケアマネジャーの懇談会	R2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	多職種連携	5：地域	6	民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係性づくりと互いの業務を理解する事により、地域支援を行う体制を作る。	2	49
25	レジリエンス研修	R3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	多職種連携 メンタルヘルス	6：事業者		仕事をしていて、ストレスフルな状況になったとき、逆境ともいえる出来事を経験していくなかでレジリエンスを日常的に職場で取り入れていく。	1	19
26	民生委員との情報交換会	R2年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	各地区の民生委員との関係性づくり	5：地域		民生委員の情報と包括の情報のすり合わせを行うことで、地域とともに支援を行っていく。	4	16
27	障害の理解講座	R2年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	多職種連携	6：事業者		障害についてケアマネジャーや事業所等と学ぶ機会を作り、顔の見える関係性づくりを図る。	1	18
28	初めてのスマホ講座	R3年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	スマートフォンの使用方法について学び、家族や友人、地域活動においてのコミュニケーションツールとして活用できる機会とする。	1：高齢者	5	スマートフォンの特長、種類、使用時の心がけ、料金体系、指の使い方などの基礎 ①電話のかけ方、カメラ機能の使い方など ②LINEの使い方、QRコードの読み取り方など ③QRコード決済の使い方など	3	52
29	知って納得講座 「体の変化 尿漏れあるある」	R2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	尿漏れについて、相談できる機会を設け、正しい知識と対処法を身に付けてもらうことで閉じこもりになることを予防し、積極的に活動できるように働きかける機会とする	1：高齢者	5	横浜市民間連携事業を活用した講座。ユニ・チャーム株式会社講師による、尿漏れに関する講義と実演形式による尿漏れ専用パットの性能や選び方についての紹介。	2	38
30	介護予防ボランティア養成講座 つながりあう地域を目指して	R3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	COVID-19流行により、地域活動が休止され住民同士がつながる機会が減少。社会参加を自粛する住民も多く、高齢者の虚弱が急速に進行している。介護予防にとって大切な、身体機能を改善・向上させるための体操を学び、地域に広げるボランティアを養成するため実施。	1：高齢者	5	① ボランティアの心得 ② ハマトレをやってみよう ③ コグニサイズを体験しよう	3	53